

埼玉親善大使レポート

Enero de 2016

長山優子

家族がメキシコシティに来ました

年が変わる12月31日の大みそか。私は日本から来てもらった家族と一緒にいました。この研修期間中はメキシコ国外に行くことが禁じられているので、4か月ぶりに家族と会えるのはとても嬉しいことでした。

年始一週間は家族とともにメキシコシティ観光。その中でも私のお気に入りの場所をこちらで少し紹介したいと思います。

グアダルーペ寺院

メキシコはマリア信仰が根強く、イエス・キリストよりもマリア様の像をあちこちで見ます。そのマリア信仰の中心地がここ、グアダルーペ寺院です。

この寺院にまつわるこんな伝説があります。『1531年12月9日、先住民ファン・ディエゴの前に聖母マリアが現れた。彼女は、「司祭のもとへ行き、この地に教会堂を建てるように伝えよ」と告げる。しかし、ディエゴが説明しても、司祭は彼の話信じない。そんな彼のもとに再度聖母が現れ、色鮮やかなバラ（バラは12月には咲かないので奇跡の証拠となる）を与える。ディエゴはバラをマントに包み、再び司祭のもとへ。彼が司祭の前でマントを広げると、マントの上に聖母の絵が浮かび上がった』

ここグアダルーペ寺院には様々な教会建築があります。地盤沈下のために傾いた旧聖堂に代わって1976年に建てられた新聖堂には上述のマントが祀られており、また別の建物内にはマリア様が現れた場所が保存されています。メキシコ人は病気の人の快復を祈願し、ここに来るといいます。

この教会建築群の中には博物館もあります。全てじっくり見ようとすると一日は



グアダルーペ寺院を望む



グアダルーペの聖母が浮かび上がったマント（額内）

かかってしまう所ですが、メキシコの文化を感じられる重要な場所だと思います。

テオティワカン

メキシコシティからバスで1時間半ほどのところにあるピラミッドがテオティワカンです。私がメキシコに来たら一番に行きたかった場所がこのピラミッド。昔勤めていた職場の上司が薦めてくださった場所で、アステカ文明の象徴ともいえる場所です。ここにあった宝物は国立人類学博物館に多数所蔵されています。

最も大きな「太陽のピラミッド」やそれに次ぐ大きさの「月のピラミッド」、神々の像で埋め尽くされたケツァルコワトルの神殿など、発見が遅かったためどれも保存状態が極めてよく、見ごたえも抜群です。今回私たちが訪れたのは元日。前回訪れたときには人はまばらでしたが、



太陽のピラミッド（右）、月のピラミッド（正面奥）

今回は沢山の人が押し寄せ、太陽のピラミッドの登り口には30分待ちの行列ができていました。そのため今回は登りませんでした。ここは眺めも良いので、訪れた際には登ることをお勧めします。

ソチミルコ

ソチミルコは、大きな水路が行き交う世界文化遺産です。メキシコシティの南に位置し、チナンパという人工の浮島が多数存在します。アステカの人々は、この浮島の上に家を建てて暮らし、トウモロコシなどを栽培し、船を使って行き来していました。まだその文化は残っており、このエリアに



ソチミルコにて、花火をもって遊覧する人たち

住む人は船を使い生活をしています。またここはアステカ時代からの伝統的なお酒「プルケ」でも有名で、遊覧船に乗っていると、プルケの行商人たちにも出会うことができます。

私たちはこの船頭さんの計らいで、とある家庭の新年のお祝いのパーティーにお邪魔することができました。夕暮れどきのソチミルコを花火を持って遊覧するのはとても幻想的な体験で、私たち一家にとりとても素敵な思い出になりました。